

正々堂々

町田市立薬師中学校
第3学年 学年日より
令和8年6月12日
第11号

体育祭 作文紹介

「体育祭」 3年2組 生徒

私にとって今年の体育祭はこれまで以上に思い出に残る行事になりました。

まず私は、中学に入学してから3年間体育祭実行委員を務めてきました。1、2年生のときは学年だけをまとめる形で3年生が全校をまとめる中心となって体育祭を引っ張っていてその姿を見ながらついていく立場でした。しかし今年は最高学年となり支えてもらう側だったわたしたちが今度は学年だけでなく全校をまとめ引っ張っていく立場になりました。実際に体育祭実行委員として活動していくと、不安なことや多くの課題、うまくいかないこともたくさんありました。学級練習や練習中、練習後に何度も反省や改善点について話し合う場ではそれぞれみんなの考え方が違うため意見がぶつかり合うこともあり、なかなか話がまとまらないこともありました。また一度よくなったと思っても次の日には元の状態に戻ってしまうこともあり、なかなか思うように改善できませんでした。そのたびにクラスのみんなで意見を出し合い、どうすればいいのかなんども考え続けました。また今年は怪我や体育祭当日参加できない人も多くいたため全級リレーでは体育祭前日までなんども走順を考え直さなければなりませんでした。そのときにクラスの人などが意見を出してくれたおかげで決めることができました。

そして一番印象的なのは学年種目 MUKADE 競争です。私たちは練習で一度も勝つことができず、ムカデ競争が本番で一番不安でした。練習を何度もしていくうちにうまくいわずみんなの気持ちがさがってしまい思うように練習できないことも多々ありました。しかし本番では今まで話し合いで話してきたことを一人ひとりが意識し全力で競技に取り組みました。その結果、練習では一度も勝てなかったムカデ競争で勝利することができました。仲間と協力してつかった勝利だからこそ今までにない大きな達成感を味わうことができました。

この体育祭を通して、目標に向かって努力することや仲間と協力することの大切さを改めて実感することができました。実行委員としての経験は大変なこともあったけどそれ以上に多くのことを学ぶことができとてもいい経験になりました。またこの経験をこれからの学校生活に活かしていきたいです。

「体育祭」 3年1組 生徒

私が体育祭を通して学んだこと、感動したことが2つあります。

1つ目は、MUKADE についてです。MUKADE は、20 人が息を合わせて足をだす、団結が必要などとても難しい競技です。最初はやっぱりうまくいかず意見がぶつかり合うことがありました。でも、このまま練習を続けるのは絶対うまくならないと思い、たくさん話し合いをしました。そしたら、次の練習で一周差つくことができました。でも、体育祭本番で焦りが出てしまい負けてしまいました。とても、悔しかったたくさん泣きました。でも、私は楽しくみんなまで終わったので後悔はなくて負けてしまったけどいい思い出になったなと思いました。

2つ目は、実行委員についてです。私は、体育委員になって初めての体育祭でした。体育委員の仕事は思ったよりもたくさんあって、40 人全員をまとめたり、放課後残ってムカデの足を揃えたり他にも色々ありました。最初は全然うまくいかず体育委員ってこんなに大変なんだと思い知らされたし、くじけそうになることもありました。でも、こんなところでくじけてはいけないとおもい、うまくできなかったことを巻き返せるように頑張りました。そして、体育祭本番でなんと一組が優勝することができました。とても嬉しかったです。でも、もう一つ嬉しかったことがあって体育祭が終わったあとみんなから「体育委員ありがとう」とか「優勝できたのは体育委員のおかげだよ」とか言ってくれて感動したし体育委員やってよかったなと思いました。

未来をデザインする第一歩を踏み出そう

新学期が始まって2か月が経ち、学校生活の様々な場面で、最高学年としての頼もしさが見えるようになってきました。いよいよ、皆さんそれぞれの「未来」に向けて、具体的に動き出す時期の到来です。本日、「第1回進路希望調査」を配布します。

「進路を決める」と聞くと、焦りや不安を感じる人もいるかもしれませんが、しかし、今回の調査は「現時点での皆さんの思い」を知るためのものです。まだ志望校がはっきりと決まっていなくても構いません。大切なのは、自分の将来や、どんな大人になりたいかということに、正面から向き合ってみることです。

保護者の皆様におかれましては、ぜひお子様と「これから」についてじっくりと話し合う機会を作っていただければ幸いです。大人を目線からアドバイスを送りつつ、まずは子どもたちの「やってみたい」「挑戦したい」という素直な気持ちに耳を傾けてあげてください。

進路選択は、自分自身を深く知る旅でもあります。悩んだり迷ったりしたときは、いつでも先生たちを頼ってください。一歩ずつ、納得のいく未来を共に創っていきましょう。